

活動方針について

活動方針

社会経済の大きな構造変化とともに、住民の意識や価値観・ニーズは変化し、多様化・複雑化しています。

地域福祉を包括的に支える地域包括ケアシステムも理想の姿には至っておらず、まだシステムを支える自助、共助、公助の連携が取れていない状況です。

また近年では自然災害が増えていることや新型コロナウイルス感染拡大など様々な脅威が発生しており、地域福祉に対し新たな課題もでています。

もはや、これまでのような行政の支援のみでは、住民の幸せを実現できなくなっているといえます。

今こそ生活の原点に帰って幅広い視点で暮らし方を見直すことが大切です。高齢者に寄り添い、より良い暮らしを支えるために、住民に気軽に立ち寄れる拠点を八代市内二ヶ所に「地域保健室」を設置し、その運営母体となる一般社団法人看護のココロの体制づくりを進めます。

特に本年度は地域のみなさまに「一般社団法人看護のココロ」を知ってもらうことを目標とし、一人ひとりの信頼関係構築を第一に下記の5つの事業に対し、丁寧に活動していきます。

- (1) 健康に関する「相談窓口」事業
- (2) 在宅医療や病気予防について「市民との学び場」事業
- (3) 地域に受け入れられる「安心な居場所」事業
- (4) 世代を超えてつながる「交流の場」事業
- (5) 地域のお世話役の「発掘と育成の場」事業